TTC 提案山行実施記録表

2010 年 8 月 4 日　報告者：佐藤末治(1/2)

山行名	**氷河公園～南岳・中岳・大喰岳・槍ヶ岳縦走**　(3032m･3084m･3101m･3180m)
実施日	2010 年 7 月 30 日（金）～8 月 2 日（月）　3 泊 4 日　ﾏｲｶｰ利用
天候／参加人員	天候：7/30 曇　7/31 曇一時小雨　8/1 快晴　8/2 晴れ レベル：★★★　参加人員：4 名（男 2 名／女 2 名）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ 及び参加ﾒﾝﾊﾞｰ	ＣＬ/計画：　ＳＬ：　会計：　救護： ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ：　氏　名　削　除
費用 **￥38,200－** （ｶﾝﾊﾟ金￥475－）	内訳：ﾏｲｶｰ謝礼（@10×600 km）￥6,000、燃料費（@125×600／8 km）￥9,375、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼（@5,000×2 日）￥10,000、駐車場（@500×4 日）￥2,000、高速代（往路￥2,750、復路￥3,200）￥5,950、ﾀｸｼｰ代（@4,000×2）￥8,000、宿泊費（槍沢ﾛｯﾁﾞ@9,000×4 名×2 日・南岳小屋@9,000×4 名）￥108,000、入浴代（@500×4）￥2,000 通信費￥1,000　支出合計**￥152,325－**　集金（@38,200×4 名）**￥152,800—** 残金￥475 を TTC へのｶﾝﾊﾟ金とする。

歩行・行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	備考
7/30	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	4:50			横尾にて奥穂を目指すＳﾊﾟｰﾃｨ 3 名と遭遇。互いの健闘を誓って別れた。
	計画	5:40	0:50	6:30	
	実行	4:25	1:00	5:25	
7/31	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	4:10			天狗原分岐を左折するとすぐに雪渓がある。天狗池は雪に覆われて逆さ槍を見ることは出来ず。最大の難所は横尾尾根のやせ尾根の急登だった。
	計画	5:30	1:00	6:30	
	実行	5:50	1:10	7:00	
8/1	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	7:10			好天に恵まれ、大展望を満喫し、山野草を愛でながらののんびり山行。
	計画	7:20	1:40	9:00	
	実行	7:55	1:40	9:35	
8/2	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	4:30			観光客の多い梓川沿いの道を快調にとばして上高地へ
	計画	4:50	0:20	5:10	
	実行	4:15	0:20	4:35	

実行コースタイム記録

◆ **7/30（金）**　中央道　ﾀｸｼｰ　50　50　1:00　1:45

本厚木＝＝相模湖 IC＝＝談合坂 SA＝＝松本 IC＝＝沢渡駐車場＝＝＝上高地——明神——徳沢——横尾——槍沢ﾛｯﾁﾞ

3:50　4:53　5:00 5:25　7:05　7:55 8:10　8:35～45　9:35～45　10:35～45　11:4512:25　14:10

◆ **7/31（土）** 45　1:30　40　2:25　20　10

槍沢ﾛｯﾁﾞ——ﾊﾞﾊﾞ平——天狗原分岐——天狗池——南岳分岐——南岳——南岳小屋

5:50　6:35～40　8:10～30　9:10～35　12:00～10　12:30～40　12:50

◆ **8/1（日）** 35　1:20　50　40　30　25　2:05　1:30

南岳小屋——天狗原分岐——中岳——大喰岳——槍ヶ岳山荘——槍ヶ岳——槍ヶ岳山荘——天狗原分岐——槍沢ﾛｯﾁﾞ

6:10　6:45　8:05～20　9:10～45　10:25～35　11:05～15　11:40～12:00　14:05～15　15:45

◆ **8/2（月）** 1:35　55　1:45　（「梓湖畔の湯」で入浴）

槍沢ﾛｯﾁﾞ——横尾——徳沢——上高地＝＝沢渡駐車場＝＝松本 IC＝＝双葉 SA＝＝相模湖 IC＝＝厚木

5:55　7:30～40　8:35～45　10:30～40　11:10～13:25　14:20　15:15～35　16:25　17:45

コースの概要、特記事項、反省事項等

◆ 7/30

中央道から長野道を快調にとばし沢渡に着く。駐車場はＨさんがﾈｯﾄで探してくれた「梓湖畔の湯」にする。駐車料金は一日 500 円、ここの駐車場を利用すると入浴料 700 円を 500 円に割引してくれる。中の湯の湯量権を多く持っており、源泉かけ流しとのこと。お勧めである。

上高地までは料金がﾊﾞｽ代と同じなので、当然ﾀｸｼｰを利用する。上高地は相変わらず登山客と観光客であふれていた。曇模様の中、順調に歩を進め横尾に到着。

何となく予感していた通り、奥穂高岳を目指すＳﾊﾟｰﾃｨと遭遇する。彼らは涸沢ﾋｭｯﾃまで 3 時間の登り、我々は槍沢ﾛｯﾁﾞまで 1 時間 50 分の楽なｺｰｽなので気が楽だ。お互い安全登山を誓って別れた。

槍沢ﾛｯﾁﾞはほぼ満員であったが、すし詰め状態ではない。早めにﾁｪｯｸｲﾝしたお陰で夕食は一回目をｹﾞｯﾄ出来た。

◆ 7/31

ﾛｯﾁﾞを 6 時に出発、天候は曇でｶﾝｶﾝ照りよりは歩き安い。天狗原分岐を左に入ると、すぐに雪渓が現れる。

最初の雪渓はｱｲｾﾞﾝなしで横断したが、2本目からは安全のためｱｲｾﾞﾝを装着する。
ｶﾞｽがかかって、対岸の登山道を見通すことが出来ない。踏み跡もないため見当をつけて前進するが、不安にかられる一瞬である。雪渓の中間までいくと、何とか岩のﾍﾟﾝｷﾏｰｸが見つかり一安心。
天狗池は予想通り雪の中で、Uさんの逆さ槍を見る夢はかなえられなかった。
ここからはﾓﾚｰﾝ（氷河堆積堤）の大岩を登り、最後は横尾尾根のやせた急登を南岳の稜線までつめる、本山行最大の難所である。一時、小雨も降ってｶｯﾊﾟ着用の身にはつらい登りである。
最後のﾊｼｺﾞを登ってようやく稜線の分岐にとび出す。南岳小屋に着いた時は、ｶﾞｽって展望がきかなかった。
CLは山小屋で遅めの昼食にｶｯﾌﾟうどんの「どん兵衛」を注文する。
年配の女性が登山靴に真っ赤な靴下を被せて入ってきた。話を聞くと、左右ともｿｰﾙが完全に剥がれてしまったとのこと。靴下を被せて、その上から予備の靴ひもでしばっているが、歩きにくそうである。CLが携行していた細引き（3ﾐﾘのﾛｰﾌﾟ）10mを提供する。辞退したがどうしてもと言うので千円頂戴した。
3000m峰の山頂でｿｰﾙの剥がれは致命的である。日頃の手入れと点検が肝心。
しばらく休んでいると、ｶﾞｽがひらけてきた。さっそく小屋の外に出て、ｷﾚｯﾄから続く北穂、奥穂の勇姿を心ゆくまで堪能する。これぞまさしく北ｱﾙﾌﾟｽの醍醐味、感動の一瞬である。

◆8/1

4:55常念山脈横通岳の上から太陽が姿を現わす。天気は快晴、我々の心も快晴である。
見渡す限り360度の大展望を満喫しながら快調に縦走する。大喰岳の山頂で滋賀の高校生十数名と出会う。引率の先生に聞いたら槍ヶ岳から来てこれから天狗原に下るとのこと。我々と違い高校生の装備はいかにもお粗末で心配である。
先生に天狗原は雪が多く、ｱｲｾﾞﾝなしでは危険なことをやんわりと説明するが、年寄りの忠告などどこ吹く風、南岳に向かって出発してしまった。一応、忠告はした。あとは何が起きても知らないぞと、自分を納得させる。
槍ヶ岳山荘にｻﾞｯｸをﾃﾞﾎﾟして槍ヶ岳の登頂にかかる。CLは3度目、Uさんは4度目、後の二人は初めてである。快適な岩登りで楽々と山頂に到着。山頂は我々を含めても10名程度でｽﾍﾟｰｽ的には余裕である。
さっそく全員で記念撮影の後、しばし眺望を楽しむ。北には次回山行の北ｱﾙﾌﾟｽ裏銀座ｺｰｽの山々、黒部五郎岳、薬師岳も間近に見える。
10分程で下山にかかったら、下からどんどん登ってくる。まるで蟻んこの行列だ。我々は運が良くて空いた時間帯に登れたらしい。渋滞でﾊｼｺﾞの上で待機するのはさぞかし辛いことだろうと思う。
槍沢ｺｰｽを快調に下っていると、下から韓国人の団体が続々登ってくる。その数100名ほどにのぼるが、何ｸﾞﾙｰﾌﾟかに分かれているらしい。年齢的には日本の中高年登山客よりも若干若い。「ｱﾆﾊｾﾖ」が連呼されるので、こちらも「ｱﾆﾊｾﾖ」と挨拶を返す。登山ﾌｧｯｼｮﾝもきまっており、かなりﾘｯﾁなｸﾞﾙｰﾌﾟと思われた。
天狗原分岐に近づくと、我々が朝通った雪渓を横切ってくるｸﾞﾙｰﾌﾟがある。どうも大喰岳で出会った高校生ｸﾞﾙｰﾌﾟらしい。天狗原分岐で彼らの帰りを待つ。しばらくして最後の雪渓を危なっかしい足取りで渡ってくる姿を発見。全員で高校生の無事を喜びあった。引率の先生も朝の不遜な態度から一変し、「ご心配頂きありがとうございました。」と謙虚になっていた。生徒たちは口も利けない位に疲れ果てている。「ここまでくればもう大丈夫だよ」と声をかけると、嬉しそうににっこり。やせっぽちのｶﾞﾘ勉ﾀｲﾌﾟの生徒ばかりで何とも頼りない。やはり横尾尾根の下りが辛かったとのこと。今日はﾊﾞﾊﾞ平に張ってあるﾃﾝﾄで泊まるらしい。我々は一足先にﾛｯﾁﾞに向かって出発。予定より45分遅れで槍沢ﾛｯﾁﾞに到着。
さっそくお風呂に入って二日間の汗を流し、Uさんの3000m峰全山制覇を祝って生ﾋﾞｰﾙで乾杯する。

◆8/2

今日は上高地に下って帰るだけなので何の緊張も無い。観光客とすれ違いながら、快調なｽﾋﾟｰﾄﾞでとばし、何とｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸのｺｰｽﾀｲﾑより早く上高地に到着した。お土産を調達したあと、ﾀｸｼｰで沢渡に向かう。
ﾊﾞｽの時間を気にしないですみ、4人のﾊﾟｰﾃｨは何をするにも便利だ。
さっそく沢渡温泉「梓湖畔の湯」で入浴。まだお昼前なので他のお客は誰もいない。のんびりとお湯につかって、4日間のばしたひげをそり、さっぱりする。
残念だったのは食事が無かったこと。やむを得ず、道路向かいの蕎麦屋さん「食事処そまのや」で「かも汁付ざるそば」を注文する。CLは大盛り、Hさんは一人「天ざるそば」を注文した。
高速は平日でもあり、渋滞も無く流れて１７：４５本厚木に帰着する。

以上